

## 平成 29 年度地域防災教育研究センター活動概要

### 1. 防災セミナーの開催

本センターでは3か月おきに学内外から講師を招いて防災セミナーを実施している。セミナーは学内外に公開している。平成29年度においては、第16回から第19回まで4回のセミナーが開催された。

#### (1) 第16回セミナー

開催日 平成29年6月23日(金)

演題・講師 累積的損傷を受ける構造物の対震性能評価 木村至伸  
地震による地盤災害～液状化と斜面崩壊～ 酒匂一成

#### (2) 第17回防災セミナー

開催日 平成29年8月8日(火)

演題・講師 原子力災害による健康影響—福島県の現状について— 土橋仁美  
鹿児島県における保健師の放射線に関する実態調査から 松川京子  
噴煙柱崩壊で火砕流が発生する物理条件に関する理論・観測研究 石峯  
康浩

#### (3) 第18回防災セミナー

開催日 平成29年11月6日(月)

演題・講師 KTS防災プロジェクト イザ!カエルキャラバン 渡司陵太  
リスクコミュニケーション～桜島大噴火を例に 桐野秀吾

#### (4) 第19回防災セミナー

開催日 平成30年2月22日(木)

演題・講師 擁壁崩壊にともなう地盤内の変形メカニズムの評価 平 瑞樹  
鹿児島県で発生した種々の地すべり事例 三田和朗

### 2. シンポジウム等の開催

平成29年度に本センターが開催したシンポジウム等は以下の通りである。

#### (1) 防災シンポジウム「熊本地震に関する鹿児島大学の活動報告」

主催 地域防災教育研究センター

開催日 平成29年4月8日(土)

会場 鹿児島大学稲盛会館(郡元キャンパス)

#### (2) 原子力災害対応セミナー「福島の震災から災害支援について考える」

主催 公益財団法人原子力安全協会(地域防災教育研究センター共催)

開催日 平成29年9月18日(月)

会場 鹿児島大学医学部共通教育棟 401 教室（桜ヶ丘キャンパス）

(3) 福島医科大学出前講座「ヘルスリテラシー すぐに使える健康情報を伝える知識と技術」

主催 鹿児島大学医学部（福島県立医科大学医学部健康リスクコミュニケーション講座及び地域防災教育研究センター共催）

開催日 平成 29 年 10 月 10 日（火）

会場 鹿児島大学桜ヶ丘共通教育棟 501 教室（桜ヶ丘キャンパス）

(4) 平成 29 年度防災・日本再生シンポジウム「桜島大規模噴火を想定した災害医療体制の構築」

主催 地域防災教育研究センター

開催日 平成 29 年 12 月 2 日（土）

会場 鹿児島大学医学部鶴陵会館（桜ヶ丘キャンパス）

(5) ワークショップ「原子力災害時の防災」

共催 環境省、地域防災教育研究センター

開催日 平成 30 年 2 月 12 日（月）

会場 鹿児島大学医学部共通教育棟インテリジェント（桜ヶ丘キャンパス）

(6) ワークショップ「大規模火山噴火に備える地域防災」

共催 鹿児島大学地域防災教育研究センター、次世代代安心・安全フォーラム

開催日 平成 30 年 3 月 3 日（土）

会場 鹿児島大学稲盛会館（郡元キャンパス）

### 3. 学内における防災教育および防災に関する研修会等の実施

共通教育および教員免許状更新講習において防災に関する科目を提供するとともに、防災士養成等に取り組んでいる。

(1) 共通教育の提供

共通教育科目 2 科目の実施

いのちと地域を守る防災学Ⅰ（前期毎週）

いのちと地域を守る防災学Ⅱ（後期毎週）

(2) 防災士養成の取り組み

防災士資格取得試験対策講座の実施

日本防災士機構による防災士資格取得試験の実施（年 1 回）

(3) 平成 29 年度免許状更新講習の開設

開設講習名 地域防災の最前線

平成 29 年 8 月 8 日実施

#### 4. 地域との連携による事業の実施

(1) 大規模火山噴火にレジリエントな地域社会の実現に向けた防災・減災の取組専門部会の開催

平成30年2月20日第2回専門部会を開催した。

(2) 大規模火山噴火にレジリエントな地域社会の実現に向けた防災・減災の取組専門部会ワーキンググループの設置と開催

大規模火山噴火にレジリエントな地域社会の実現に向けた防災・減災の取組専門部会の下に、本年度は大規模火山噴火と関連現象ワーキンググループ(WG1)と、大噴火時における交通被害ワーキンググループ(WG3)を設け、大規模火山噴火に備える防災減災について検討を開始した。開催日とテーマは以下の通り。

##### ① WG1

第1回 平成29年5月19日開催、演題・講師 桜島火山、歴史時代の大噴火の推移  
小林哲夫

第2回 平成29年6月30日開催、演題・講師 気象レーダを用いた噴煙雲の監視 -  
鹿児島大学の取り組み - 真木雅之

第3回 平成29年7月28日開催、演題・講師 桜島大正噴火を想定した降灰シミュ  
レーション 新堀敏基

第4回 平成29年9月29日開催、演題・講師 火山噴火の健康影響に関する基礎知  
識 石峯康浩

第5回 平成29年10月13日開催、演題・講師 降灰ナウキャスト開発に向けた事前  
調査 - 降水ナウキャスト予測法のレビュー

第6回 平成29年12月15日開催、演題・講師 火山噴火に伴う侵食と土砂流出  
寺本行芳

第7回 平成30年1月26日開催、離島の火山：歴史時代の特徴的な噴火

##### ② WG3

第1回 平成29年6月30日開催、議題 活動方針の確認、WGの進め方、多量降灰  
が道路に及ぶ影響、道路走行実験

第2回 平成29年7月28日開催、議題 道路啓開手法の検討、車両走行実験案の検  
討、その他

第3回 平成29年8月25日開催、議題 海上交通が有する課題と検討中対策素案、  
多量降灰後の道路交通特に車両の走行実験、噴火前の道路交通止めに関する  
法、道路啓開案、その他

第4回 平成29年9月29日開催、議題 時間計画(タイムライン)、軽石の処分場所  
(錦江湾沿岸)、木造建築物の多量降灰による倒壊の可能性、WG3の到着地  
点と対象範囲、その他

第5回 平成29年10月13日開催 議題 レポート作成方針の検討、軽石処分地の検

討、行動時間計画の検討、その他

第6回 平成29年11月20日開催 議題 道路啓開準備のスタート時期検討、これまでの委員会検討内容の更新、その他

第7回 平成29年12月15日開催 議題 道路啓開・復旧を実施する場合の現状の課題検討、平成30年度の方針確認

第8回 平成30年1月26日開催、道路啓開・復旧作業の実施法検討、その他

(3) 文部科学省実践的防災教育総合支援事業の支援

県教育委員会「防災教育モデル実践事業」（文部科学省「実践的防災教育総合支援事業」委託）において、県・市町教育委員会からの要請を受けてモデル校へ防災教育アドバイザーの派遣および防災実践指導を行っている。平成29年度は指宿市と大崎町で実施した。

## 5. 調査研究の実施

(1) 火山観測用 Ku バンド高速スキャンレーダによる降灰観測

2017年2月桜島に火山観測用レーダを桜島に設置した。調整を経て、2017年4月から負荷試験を開始し、観測を継続している。

(2) 総合防災データベースの改良と活用

文部科学省地域防災対策支援研究プロジェクト事業「南九州における地域防災支援データベースの構築」（平成25年度から平成27年度）を継承するもので、引き続き資料の収集と登録作業、外部公開のためにデータベースの改良を行った。

また、平時の防災啓発として、デジタルサイネージによる情報発信を行った。

(3) 外部機関との共同研究

気象庁気象研究所「気象レーダを活用した火山噴煙に関する研究」（平成26年4月から平成29年3月）を継続して実施した。

日本気象協会「マルチパラメータレーダの観測精度向上及び観測データを用いた短時間気象予測に関する研究」（平成25年3月から平成29年3月）を継続して実施した。

## 6. その他

(1) 企業等からの相談等

自然災害に対する事業継続計画（BCP計画）策定をはじめとした企業等の防災活動についての相談やセンター訪問等に応じた。

(2) 国分高等学校の生徒が訪問

平成29年7月24日（月）、国分高等学校理数科2年生9名を受け入れた。これは、科学技術振興機構の支援事業「中高生の科学研究実践活動推進プログラム」に採択された国分高等学校の「主体的な科学研究実践活動を推進」に伴い実施されたもので、眞木雅之センター特任教授が科学研究の進め方や実験技術等について助言を行った。